

品種 えだまめ 「ぷっくらこ(滝系C11)」

えだまめ品種「ぷっくらこ(滝系C11)」は、これまで本県で優良品種が見られなかった8月4～5半旬収穫の中生種で、大莢で莢色が濃いなど外観品質が優れる。また、収量が比較的高く、食味も良好で、一般の市場流通に向けた品種である。

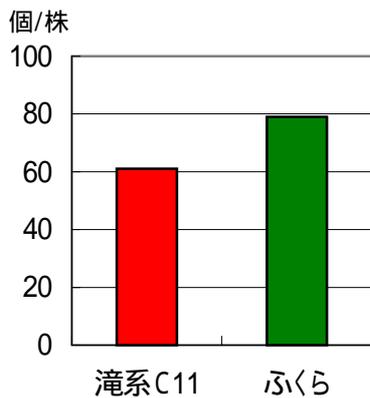


図1 株当たり稔実莢数

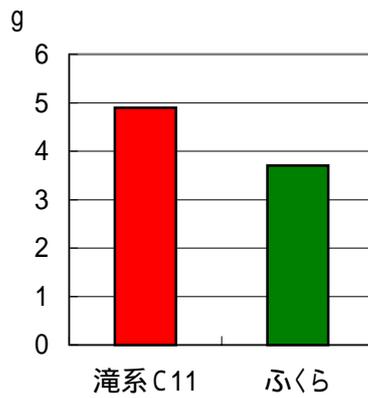


図2 一莢平均重(3粒莢)

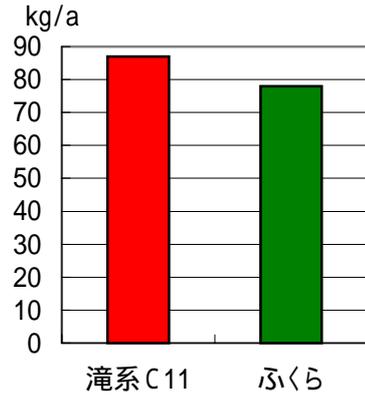


図3 完全莢収量

株当たりの稔実莢数は少ないものの一莢平均重が「ふくら」に優り、中生品種としては多収である。



写真1 「ぷっくらこ」の草姿

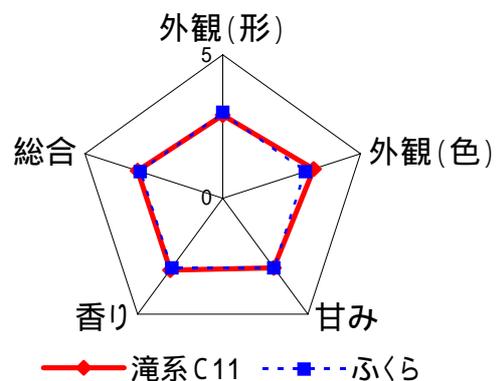


図4 官能試験
(「ふくら」を基準とし、5段階で評価)

良食味品種の「ふくら」と同等の食味評価である。また、莢色が濃く、外観品質でも優れている。

栽植様式は、一般の中生品種と同様に畦幅を140cmとし、9224Bマルチを使用する。